

○地方市史として全国に類をみない本格的写真集成

一、〇〇〇部予約限定出版

判型 B4版変型タテ33cm・ヨコ26cm
表紙 布クロス装・銀版押し堅牢仕上げ
頁数 写真掲載二〇〇頁・付録年表二〇頁
頒布価額 (印刷製本実費) 一部一、五〇〇円

監修 飯田義資
編集 徳島市市史編さん室
発行所 徳島市役所
印刷所 株式会社出版

徳島・幸町一

申込方法 申込み所に備えつけの用紙に必要事項を記入の
うえ、予約金五〇〇円を副えて徳島市役所市民
課・徳島市産業観光会館または最寄りの支所事
務所へ一月三十一日までに申込みください。

○三万枚余の膨大な資料のなかから千数百枚の写真
を厳選・資料も豊富に収録



●西新町1丁目から2丁目をのぞむ 明治42年(1909年)



●徳島市役所 明治44年(1911年)に改築されてから昭和5年(1930年)に焼失するまで、裁判所の北隣にあった (大正末期撮影)



●徳島の盆おどり 浜側から富田橋へ富街連中の踊り 昭和10年(1935年)頃

置市八十年記念出版

写真でみる徳島市百年

徳島一世紀の記録写真集大成

3月刊行

徳島市

発刊のことば

徳島市長

武市一夫



置市八十年の記念に本書の刊行を企てました。わずか一年あまりの間にまとめたものですが幸い市民各位のご協力を得て、日の目を見ずに私蔵されてきた明治、大正、昭和の世帯を通じての写真や資料をご提供いただき、豊富に収録することができました。
また編集にあたっては良き監修者を得て単にめずらしい古い写真の羅列でなく市史としてのバックボーンが通った良書とすることができ、いささか気を良くしております。
徳島市百年の歴史を知り、あすの徳島を築く徳島市民好個の資料として、ぜひご覧をお勧めします。

推奨のことば

監修者

飯田義資



明治百年記念事業の中で、後世に残るものがどれだけあろうか。徳島市では置市八十年と合わせて、この本を刊行する。明治二百年には、いよいよ本書の真価が認識せられると思う。
日本は世界屈指の出版国で、読む本から見る本へと進んでいる。私は監修などできないが、百年の七割を生活したので、説明の誤を正すほどの意味で引受けた。
それで一通り見たので、これを市民各位ならびに一般の諸君に推奨する。

内容の紹介

明治、大正、昭和と私たち徳島市民が親子3代にわたってあゆんだ さまざまな足跡を内容ごとにまとめ、見開き2頁に写真を収録して、解説を加えた目で見る徳島市史です。

大型本に大型写真をわかりやすくレイアウトし、最高の技術で印刷し製本しました。

たのしかった、くるしかったあの頃、あの人この人 さまざまな思い出をよびもどしながら、たのしくご覧いただけます。



● 庚午事変(阿淡騒擾)の志士たち、左から益田永武、大村純安(切腹)、阿部興人(終身禁錮後代議士)、南堅夫(切腹) 明治3年(1870年)撮影



● 市民の飲料水であった錦滝水の水売り 大正4年(1915年)



● 明治34年(1901年)の新町橋 4階建の建物は市川精養軒



● 今はなき徳島のシンボル 大滝山の三重塔



● 空襲警報発令 昭和19年(1944年)の防空訓練



● 昭和6年(1931年)頃の徳島駅前



● 昭和7年(1932年)上海から徳島駅へ凱旋した歩兵第43連隊の



● 昭和10年(1935年)高德線が開通するまで撫養行鉄道に連絡の巡航船



● 昭和22年(1947年)復活第2回メーデー、堂々市街を大行進